



2019年10月30日

山東医学高等専科学校に行ってきました。

笠井 俊文
森 正人

日 程 : 2019年10月13日(日)~20日(日) 7泊8日
講座名 : 山東島津放射線技術講座 第3期第7回講義
教 室 : レクチャーホール

山 東医学高等専科学校に笠井先生と行ってきました。はじめての中国でしたが、心強い先生がおられましたので、何の心配もせず充実した日々を過ごさせていただきました。

私 は、本学で担当している「身近な科学」をベースに、「医用画像情報」、「医療情報」、「AI」などの技術的要素を付け加えて教材を準備しました。この科目では、講義後にレポート課題を出すのですが、今回は、その部分をディスカッションにしました。(NHKで放送された)MIT白熱教室のように、学生さんと意見を交換したいと考えたからです。想像どおり、学生さんは積極的に発言してくれました。授業終了後には、大きな拍手をいただきました。また、「いっしょに写真を撮ってほしい」、「サインがほしい」と願い出る学生もいました。「ドッキリではないだろうか」と疑いつつも、うれしさのあまり、顔がニヤけてしまいました。でも、本当に私が講義したのだろうか? そんな思いも心をよぎりました。

逐 次通訳してくださる李先生の一言ひとことに、学生さんは大きくなずき、声をそろえて反応していました。先生の講義は、抑揚があり、アクションを交えるものでした。情熱がほとばしっていました。また、先生の手元には、プリントした私の教材があり、そこには、たくさんの書き込みがありました。予習をしてくださっていたのだと知りました。頭が下がりました。私は中国の学生さんに講義をしましたが、それ以上に、李先生から「授業に取り組む姿勢と教授法」の講義を受けたのだと思いました。

さ いごに、このような機会をいただきました島津製作所の関係者の皆様、受け入れてサポートしてくださいました山東医学高等専科学校の先生方にお礼申し上げます。また、最後までご清聴くださいました未来を背負う学生さんたちに感謝申し上げます。